

滋賀県立総合病院広報誌

2023
12
第15号

FACE



【特集】腫瘍内科

がん薬物療法のスペシャリスト 腫瘍内科医



外来化学療法センター

- ベッド数 25床
- 専任医師 2名
- 専任看護師 6名
(うち1名は、がん化学療法看護認定看護師)
- 専任薬剤師 3名
(がん薬物療法認定薬剤師3名)

外来化学療法とは、抗がん薬を使用した薬物治療を通院しながら外来で行う治療法です。入院期間を短縮し、お仕事ご家族との大切な時間を少しでも多く持ちながら治療を行うことができ、患者さんのより良い生活の質を保つことができると言われています。

しかし、外来治療後、ご自宅でどんな症状がでるのだろうか、そんなときにはどうしたらいいのだろうか、と最初はいくつかの不安が生じやすいことがわかってきました。そこで、外来化学療法センターでは、患者さんに安心して治療を受けて頂けるように、入院中、外来通院中いずれの方にも、外来での治療が始まる前に看護師が外来化学療法のオリエンテーション(説明)を行っています。

また、患者さん一人一人に「自己管理ノート」をお渡ししています。この「自己管理ノート」は、ご自宅で感じられた症状などを記入して、外来通院時に持参していただくものです。その記録をもとに患者さんのご自宅での様子を理解するよう努め、一人一人に応じた医療や看護が提供できるよう取り組んでいます。



腫瘍内科 10月よりスタート

滋賀県立総合病院では2023年10月に腫瘍内科を開設しました。

当院の腫瘍内科には日本臨床腫瘍学会の認定を受けた「がん薬物療法専門医」が2名在籍し、乳がんや、胃がん・大腸がん・膵がんなどの消化器がん、原発不明がんや肉腫などの多種多様な固形がんの診療を得意としています。

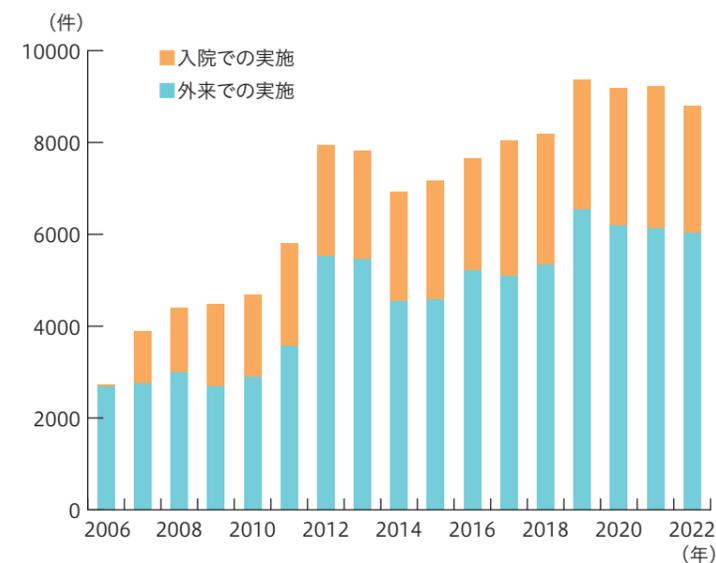
近年はがんになってからも可能な限り今までの生活が続けられるように、がん薬物療法の大部分は日帰りの外来通院で実施可能になってきています。外来でのがん治療を可能とする「外来化学療法センター」の円滑な運営を行うのも腫瘍内科の大切な仕事の一つです。

また「がんゲノム医療連携病院」として、「がん遺伝子パネル検査」を用いた遺伝子検査や治療も行っています。

腫瘍内科は歴史が浅い診療科で、特に東日本と比べると近畿圏では腫瘍内科という診療科が設置されている病院はまだ多くはありません。そのため、「腫瘍内科」という言葉自体にあまりなじみがない、聞いたことがないと思われる方もおられるかもしれません。腫瘍内科医は、様々な臓器のがんに対する薬物療法(抗がん薬治療など)を主に行う医師です。近年の分子標的薬や遺伝子関連検査などの発達によって、がんの薬物療法は急速に高度化・複雑化しつつありますが、外科医が手術の専門家、放射線治療医が放射線治療の専門家であるのと同じように、がん薬物療法を専門に行う医師として腫瘍内科医という職種が少しずつ増えてきています。

がん薬物療法の対象となる患者さんについて、ぜひ当科を頼りにしていただきたいと思っております。

当院のがん化学療法の実施状況
(抗がん薬調整件数の推移)



がん患者さんを長い目で支える 滋賀県を代表する腫瘍内科を

卒後すぐに産婦人科の医局へ入局したものの、どうも手術が苦手と判明し、そこから内科ローテーション研修を受けた後に、血液内科で化学療法や骨髄移植などを学びました。大学院卒業後に緩和ケア病棟勤務を経て2009年に腫瘍内科へ転向、現在は主に乳がんを中心にがんに対する抗がん剤治療を行っています。また、前任地である大阪国際がんセンターでは、遺伝性腫瘍やがんゲノム診療、15歳～39歳（AYA世代）の若年がん患者さんへの支援などについても経験を積みました。

全国平均と比べてみても滋賀県は腫瘍内科医の数が非常に少ない県ですが、手術や放射線治療、緩和ケアなどがんに関わる様々な診療科と連携して、がん患者さんを長い目で支えるスタンスで滋賀県を代表する腫瘍内科を作り、がん患者さんのよりよい暮らしや人生を作るお手伝いをしていきたいと考えています。

プライベートでは、下手の横好きではありますが、アマチュアオーケストラでチェロを弾いています。音楽でリフレッシュしながら、これまでの経験を活かして滋賀県の皆様のお役に立てるよう診療していきます。

腫瘍内科 科長 兼
化学療法部 部長

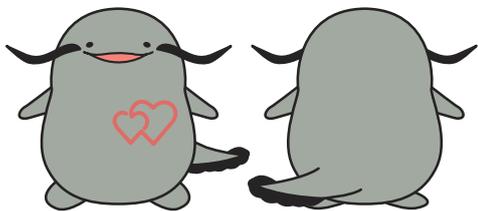
藤澤 文絵



日本内科学会認定
総合内科専門医
日本臨床腫瘍学会
がん薬物療法専門医
臨床遺伝専門医
日本遺伝性腫瘍学会
遺伝性腫瘍専門医
2023年10月より当院に着任

Information

当院のマスコットキャラクター 誕生！



ピワコオオナマズをモチーフに作成したキャラクターで11月19日に開催しましたオープンホスピタルで初披露しました。名前は『びわずん』です。広報誌や色々な場面で活躍予定です。

ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌
「FACE」に関するアンケートフォーム



心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創生し提供する。

 **滋賀県立総合病院**
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)
[診療受付時間] 午前8時30分～午前11時 ※2科受診の患者様を除く
[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29～1/3)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

滋賀県立総合病院

病院HP



FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)
発行日：2023年12月

バックナンバーも
ご覧いただけます

